

1 園目標

心身ともにしなやかで健康なこども
ありのままの自分を表現できるこども
豊かな感性を持ち、意欲的なこども
思いやりをもち、仲間を大切にすることも

2 今年度の主な取り組み内容

	重点的な取組状況
保育	毎日の生活やあそびの中で、発達に合わせて楽しく身体を使うことを意識してきました。年間を通して散歩やリズムあそびなどにとりくんできました。
職員	園内学習を計画的に取り入れてきました。テーマを決め話し合ったり、研修で学んできたことを報告しあい、保育に活かしていくようにしました。
保護者	園でのようすをおたよりや送迎時などでわかりやすく伝えるようにしました。また、年間3回のクラス懇談を行い、こどもたちの姿や悩みを話し合ったり、こどもたちのようすを共有できるようにしました。保育制度改定（幼児教育・保育の無償化、幼児の副食費徴収）の周知と理解を深めました。
園全体	散歩ルートの見直しや、危機管理の再確認を行いました。クラスの枠を超えてこどもも大人も横のつながりを大切にしてきました。一緒に散歩に行ったりリズムあそびをしたり、意識的に他のクラスとも関わるようにしました。5歳児クラスは0歳、1歳のおもちゃを作ってくれたりもして、小さいクラスのこととも考える気持ちが高まりました。
一時預かり	例年通りたくさんの問い合わせがあり、利用者が多かったです。同じ年齢の園児とも関わりながら楽しく過ごせるようにしてきました。

3 今後の取り組み

重点的な取組	内容
保育	生活やあそびの中で楽しく身体を使っていくことを意識的に行い、年齢や発達に見合ったとりくみをしていきます。
職員	振り返りを大切にし、こどもたちの姿からとりくみや手立てを職員みんなて話し合い考えます。会議の仕方を工夫し充実していきます。
保護者	園でのようすをわかりやすく丁寧に伝えていき、家庭と連携をしながら一緒にこどもの成長を喜び合える関係を築いていきます。
園全体	新型コロナウイルス感染症対策で関係機関と連携を進めます。感染症対策を行いながらの保育の検討を行います。話し合うことを大切にし、一人ひとりのこどもの成長発達を園全体で見守り考えていきます。保育の伝えあいを大切にしていきます。
一時預かり	昨年と同様の事業を予定しています。